

どんぐり村の こみ・すく通信

令和3年11月10日発行 第16号
更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

地域の方々への感謝 更中生が地域に出てゴミ拾い

5月に引き続き、10月28日に2回目の生徒会によるゴミ拾いが行われました。全校生徒が5つのグループに分かれて、街の中をはじめ、国道や高規格道路まで歩いてゴミを拾いました。

トタン板などの大物のゴミもありました。



みんなの学校応援団の活動を紹介<その11> 地域の方々が家庭科の授業支援

10月15日と22日の2日間、更別小学校6年生の家庭科の時間に、地域の学校応援団の方々が授業支援に入ってくださいました。家庭科の地域の方による支援は、2年目の取組です。

15日には6人、22日には7人の方が授業支援



布の端から1cmの所に印をつけます



マチ針はこの辺りに



縫う部分を印づけします



布を合わせてしつけします

地域の歴史と化石を探る

10月12日、昨年に引き続き中札内中学校の岡久保幸先生にご来校いただき、更別小6年生に理科の地層についての授業をしていただきました。

岡久先生は、ナウマン象の発掘にも関わるほど地層には詳しい方です。

授業は、「更別村と十勝の歴史を探る」「化石について知る」がテーマでした。子どもたちは興味をもって話を聞いていました。

北海道で最も古い遺跡(2万年前)が残っているのは、北海道で3か所のみで、そのうちの一つが更別村(勢雄区)ですよ。



6年生の家庭科の内容は「ナップザックづくり」。玉結び、玉止めを練習しながら「しつけ」をして、ミシンをかけました。

支援に入ってくださいました地域の方は「久しぶりに会いましたが、大人になってびっくり。授業に取り組む真剣さや集中力が高まっていました。」と成長を感じ、子どもたちは「ほめられるとうれしい。」と意欲的にナップザックづくりに取り組みました。

保育園児にも読み聞かせ「楽しかった」



10月21日にどんぐり保育園の年長児が更別小学校に訪問。おひさまの会の皆様による「お話し会」に児童と一緒に参加して絵本を読んでもらいました。

年長児から「楽しかった。」という感想が出ていました。